

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ城東

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			十分なスペースを確保している。 学習室とプレイルームを仕切りで分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			コンプライアンス委員会を設置しており、人員配置を含め、法令遵守にのっとり運営している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			教室内は、視覚支援等によりバリアフリー化されている。	2階のテナントであるため、階段の上り下りが生じる。「保護者と一緒に上り下りをする」と児童と約束したり、見送りの際は降りる様子を見守ったりして安全に配慮している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎日、朝礼、終礼、勉強会を行っている。その中で日々問題点を挙げて、解決策を話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートを実施し、全職員がその結果を確認することで、業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで毎回公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		外部評価は未実施だが前向きに検討したい。
適切 な 支 援 の 提 供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			朝の勉強会や全体会議の場での研修で職員の資質向上を図っている。外部講師を招いての研修も行った。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			児発管が適切な手順で作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○		当事業所内で使用してはいないが、病院などで行ったアセスメントツールを用いた検査の結果を参考にさせていただいている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			メソッド委員会が組織されており、教室の枠を超えて協力して立案している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ城東

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			同じプログラムを繰り返して実施する場合も、実施曜日を変更している。 同じ内容でも改善を重ねている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇中は、地域交流や季節に合わせた活動を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			児発管が中心となって、活動時間や余暇時間に児童が取り組めることを考えて計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼時に当日の療育内容、役割分担を全職員で共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終礼を行い、その日にあったことを共有して業務改善につなげている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			Bridge（連絡アプリ）への記入や、朝礼・終礼時の記録を徹底し、改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			最低限、6か月に一度は児発管がモニタリングを行い、その後全職員で話し合っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			プログラムはガイドラインを参照して作成している。	
	関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			教室長や児発管が参加している。
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			学校から毎月の予定表をいただいで確認している。緊急時には直接電話連絡等をして解決を図っている。	
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当なし	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ城東

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	○			児発管が移行支援会議などに 積極的に参加し、得た情報を 事業所に持ち帰って全職員に 共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している				該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	○			代表者が研修を受けて、全職 員に情報共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	○			イベント“夏祭り”のきょうだ いを招待することで、障がい のない子供と関わることがで きた。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参 加している	○			代表者が研修を受けて、全職 員に情報共有している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○			Bridgelにて来所時の様子を伝 え、保護者と共有している。 また、送迎時に直接丁寧に話 をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	○			6月と11月に茶話会を実施 し、当事業所職員が子どもに 接するときに意識しているこ とについて、説明した。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			契約時に児発管が丁寧に説明 している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○			定期的な面談を行うなど、悩 みを共有して保護者の気持ち に寄り添うよう心掛けている。 。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	○			6月と11月に茶話会を実施 し、保護者同士での交流の場 を設定した。 10月に実施した運動会では、 応援席で保護者同士の活発な 会話が見られた。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	○			ご意見箱を入口に設置してい る。 日々の送迎時の保護者との会 話を充実させることで、迅速 かつ適切に対応できるよう努 めている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ城東

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			マザーズ新聞を11月に発効した。 日々の活動の様子を掲載するブログを週に2回更新している。 予定表は毎月配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報を含む資料は全て鍵付きのキャビネットに保管。 職員退勤時に必ず施錠している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			Bridgeの活用や対面でのお話を通じて相互理解を図っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			夏休みに、地域の人形劇サークルの方に来ていただき、人形劇を上映していただいた。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時に保護者に配布している。職員は朝の勉強会等で確認している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			ガイドラインに沿って定期的に各災害に対する訓練を行っている。	避難訓練を行った際は、写真やBridgeで送ったり、当事業所の避難場所を共有したりして、避難訓練について、日頃から保護者との情報共有を充実させる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			メンタルヘルス研修や虐待防止研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			一件、記載した。事前に、相談支援員に確認を取ったうえで、保護者に十分に説明した。 後日、身体拘束適正化委員会主催の協議にて否決。次回更	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			おやつ用のお菓子の保管箱に、児童のアレルギーについて記載している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット発生時には、記録を作成し、法令遵守責任者に報告している。事業所内でもその日のうちに共有している。		